



チャレンジ91

南阿蘇村立中松小学校

学校だより

令和2年9月29日第18号

発行 校長 松本 政子



あんなに毎日「暑い、暑い。」と言っていたのに、あっという間に朝夕すっかり涼しくなりました。9月もう終わります。学校の1年は4月に始まるので、今がちょうど折り返しです。これからは次の学年を意識しての準備期間となります。しかし、今年度は6月からの始まりだったので、まだ半分は過ぎていません。実際にはあと1ヶ月過ぎてからが今年度の折り返しとなりますかね。

休校から始まった今年度。登校日に行きたいもの苗さしや田植えでしたが、いよいよ収穫の時期が近づいてきました。楽しみです。「実るほど頭を垂れる稲穂かな」ということわざを教えるのにぴったりな時期です。実りが大きければ大きいほど頭を垂れる稲穂…肝に銘じておきたいものです。

子どもたちにとっても「実りの秋」であってほしいと思います。学習はもちろん、読書にもよい季節です。お気に入りの1冊をぜひ見つけてほしいです。

中松小の子どもたち全員に豊かな秋の実りがありますように…。



この期間は朝から保護者の方だけでなく、地域の方にも見守っていただきました。本当に有り難いです。特に登校時刻は自動車も急いでいることが多く、危険です。自分たちの目で確認する習慣をつけることも大切です。

秋分の日も過ぎ、これからは日に日に日暮れが早くなります。私たち大人も運転には十分気をつけたいですね。

12日(月)、13日(火)は修学旅行の関係で6年生が登校しません。お気をつけ下さい。

今年度初めての お弁当の日

24日(木)は、お弁当づくり、お世話になりました。それぞれのコースで取り組むことができたようですね。みんなにこにこ顔で食べていました。もちろん給食も楽しみですが、「お弁当の日」は特別な気がします。今年の運動会はお弁当なしでしたので、さらにおいしかったのではないのでしょうか。継続した取組で学年が上がる毎に腕もあがりそうです。



開校の準備も行われています。総務部会、PTA 部会、通学部会、事務部会、教育課程部会などいくつかの部会に分かれて様々なことを検討しています。保護者の代表の方にも出席いただいているものもあり、お世話になっています。校舎の改築も進んでいるようです。

子どもたちも1学級の人数が今より多くなりますので、学習面、生活面の両面で準備をしていくこととなります。「今のうちに」しっかりと身につけておいてほしいものがたくさんあります。

初めてのリモート研修

私事ですが、25日(金)は、学校でリモート研修を受けました。本来なら1カ所に集まった場所に、関東からの講師の先生が来熊され、講演と班別協議が行われる予定だったのですが、新型コロナウイルスの影響でリモート研修になりました。お話を聞いたり、小グループに分かれて意見を出し合ったりと午前2時間、午後2時間の研修でした。学校にいながらにして研修が受けられる…自宅にいながらにして授業を受ける…これからの遠隔授業はこんな感じなのかなと思いました。研修場所への往復の時間はいなくなるので(講師の先生もご自宅からでした。)、普段通りに出勤できますし、学校にいる安心感もありましたが、画面上で小グループの方とお話する以外は他の参加者と会うことも話すこともなく、少しさみしい感じがしました。もちろんビデオ通話なので、画面に小さく自分が映り、常に見られている感じがして、緊張しました。便利なものだと思いますが…。これから学校にもタブレットが入ってきます。効果的な活用方法を探っていかなければならないと感じました。ちなみに研修の内容は「働き方改革」でした。講師の先生から「あなたの学校の保護者の方は先生方の勤務時間をご存じですか。」と問われ、そういえばそんなことをお知らせする機会は無かったなと思いました。(中松小学校は勤務開始が8:20で勤務終了が16:50です。お昼休みは45分間の休憩時間が設定してあります。)